

令和6年度 認定こども園帯広の森幼稚園分園 自己点検・評価シート

1) 認定こども園帯広の森幼稚園の教育目標

自然や身近なものに関心を持ち、遊びを中心とした生活を通じて、21世紀をたくましく
生きぬく幼児の育成を目指す。

- ◎丈夫な体の子どもを育てる
- ◎仲良く遊べる子どもを育てる
- ◎自分で考える子どもを育てる

【めざす子ども像】

『生きる力を身につけた 明るく たくましい子ども』
生きる力⇒丈夫な体、豊かな心、考える力

2) 本年度の重点的に定めた教育目標

- ・豊かな自然を活かした園運営を行う。
- ・子ども・保護者・教職員が安心して自分の力を発揮できる人間関係の構築を図る。
- ・子どもの実態や課題、保護者や地域の願いを捉え、保育にかかわる様々な人たちの参画を得て、教育目標の達成を目指す。
- ・子どもの成長を大切にしたい園行事の充実・保育内容の実践に努める。

3) 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目		評価結
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、保育方針や計画（内容）を保護者に伝えてありますか ・園は、一人一人の子ども達を理解し、子ども達に寄り添った保育を行っていますか ・園は、子ども達の個性や特性を大切にし、意欲や主体性を育む保育を行っていますか 	B (4.1)
園の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、職員間の信頼関係・協働関係・共通理解を大切にしていますか 	C (3.9)
研修・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、各種研修会や講習会への積極的な参加に努め、報告・交流活動を行っていますか ・園は、園内研修の計画・運営は適切に行っていますかを行っていますか ・園は、挨拶や返事など、基本的な生活習慣の指導に努めていますか 	B (4.0)
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、子ども達の幼稚園での様子を保護者に伝えてありますか ・園は、「園便り」「クラス便り」「ホームページ」等で園の情報を発信していますか 	B (4.1)
保健・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、遊具や用具等を活用しやすいように整理・保管していますか 	B (4.0)
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、保護者の意見を園の運営に反映していますか ・園は、保護者との共通理解に努め、誠意を持った対応に努めていますか 	B (4.2)
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、延長保育が安心して利用できるよう努めていますか 	B (4.2)
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、保育施設のよりよい環境作りに取り組んでいますか ・園は、園内外の環境整備に努めていますか 	B (4.2)

自己評価結果の表示方法

- A：大変良い（4.5点以上） B：良い（4.0点以上）
C：一部検討が必要（3.5点以上） D：改善が必要（3.4点以下）

4) 今後の課題と評価

教育課程	保育のやり方を話し合いながら改善改良し、新たな取り組み（飼育）を保育の中に入れ保育課程、指導計画、年間計画を進めていったが年度途中の人員変更により何度か計画変更が生じた。来年度は安定した人員体制で反省を活かしてより子どもが向上できる計画に努める。
園の運営	全体やクラスごとの活動内容を確認をしながら保育を進め「報告・連絡・相談」で情報の共有化を図り、協働体制で取り組んできたが、一部共有不備のケースも見受けられた。話し方や言葉遣いも含め、効率よく勤務できるよう共通認識改善に努めていく。
研修・指導	園内研修を計画するも職員が揃う日程調整が難しく限られた回数となった。今後は新たな研修内容を発信し積極的に参加し、保育士自身の資質と社会人としての接遇の向上に努めていく。
情報提供	園からのお便り、毎日のクラス日記、シルフメールを通じて保護者に向け情報の発信に努めた。行事を見ることが出来ない保護者に向けてYouTube動画配信は好評だった。園内スペースと子どもの心情を鑑みると今後も継続していく方向。
保健・安全管理	感染対策としてだけでなく地震などの災害時や不審者に関しても考え、防犯意識や掃除、整理整頓の環境美化に努めるとともに、園児の怪我をふまえて危険認識の再確認や改善に向けて対応してきた。園舎セキュリティーをより強化出来ないか検討する。
保護者・地域との連携	お迎えの際に話しや電話・連絡ノート等で子ども達の様子を伝えられるよう心掛けた。また、保護者アンケートを実施し、保護者の要望や意見を聞き、できる限り寄り添えるよう努めた。行事を通して地域の方との交流も行う事が出来た。
子育て支援	防犯に留意し、園児や職員が不安とならないよう複数体制で延長保育を行った。より子どもに向き合い、主体性に寄り添えるような保育に取り組んでいく。該当時間帯の園舎セキュリティーを強化できないか検討する。
環境整備	日々職員の状況報告から環境整備に取り組んできた。隣接保育施設との共有物も含め、今後もよりよい策を生み出しながら改善に努め取り組んでいく。スペースだけでなくどうすればさらに過ごしやすい楽しめるか検討を継続していく。

令和7年3月14日

学校法人帯広葵学園

認定こども園帯広の森幼稚園分園

分園長 飯田 理央子